

ごあいさつ

国際高等教育院長

大 嶋 正 裕



京都大学は、1897年に創立され、長い歴史の中で学術の発展に多大な貢献をし、数々の有望な人材を輩出してきました。先輩たちの活躍は日本国内だけでなく世界中に広がっています。皆さんもその伝統を継承し、自らの学問研究を発展させ、社会で重要な役割を果たすことが期待されています。

国際高等教育院は、皆さんがその期待に応え、さらに自身の夢を実現するためのサポートを強力に行います。学問研究を深め、発展させ、社会で活躍するためには、しっかりとした基礎を確立しておく必要があります。そのために、多様な分野に亘る教養科目、自然科学分野の基礎科目を提供し、専門分野以外の学問に触れ、多様な問題や学問的方法論を理解するための体系を整えています。

大学での学びは、高校までとは異なり、学びたいことを自分で選ぶことができるのが特徴です。たとえ進路が明確であっても、貪欲に様々な学問に挑戦することをお勧めします。そして、未だ学びたいことが明確でない場合も、様々な学問に挑戦するチャンスです。人間のこと、社会のこと、自然の法則など、色々な視点から考えることができるのは大学生時代だけかもしれません。この学生時代を大切に、将来のための貴重な経験にしてください。

国際高等教育院では、“ILAS セミナー”という少人数クラスを数多く揃え、皆さんが、直接、教員に問いかける機会を充実させています。また、“統合科学”という科目では、現代社会における学問の意味を教員とともに考え、議論する機会を提供しています。これらの京都大学らしい学びの機会も活用し、積極的に他の学生や教員と対話・議論して「自分の頭で考える力」、「思考の方法」、「自分の意見を作る力」を身に付けてください。

国際高等教育院では英語教育にも力を入れており、英語の少人数クラスや自習教材を使ったリスニング学習など、「聞く・読む・書く・話す」の英語4技能の向上をサポートしています。さらに、外国人教員による英語で教える基礎科目や4技能をより強化する授業（E科目）も多数提供し、より高度な英語力の修得に加えて、異なる視点や価値観を学ぶ機会も豊富です。この機会も存分に活用してください。

大学院ではより専門的な学びが待っています。専門科目の授業に加えて、研究活動や社会への貢献に必要な科目が共通科目として提供されています。ゆがんだナショナリズムなど現代社会がかかえる問題はきわめて複雑で難しいものです。そのなかで持続的に社会を発展させていくためには、深い「学術知」だけではなく「総合知」が求められます。大学院に進み、様々な分野の「学術知」を知り、「総合知」が何たるかを考えることは、将来のキャリアに必ず役立つことでしょう。

皆さんの大学生生活が充実したものになるよう、私たちはサポートしています。何か質問や疑問があれば、遠慮なく声を掛けてください。一緒に学び、一緒に成長していきましょう！